



竹島 勝昭 (市民連合クラブ)

水循環基本法に基づき 地下水の現状調査に着手せよ

調査の必要性を研究したい

議員 市内では井戸が枯れたり、湧水量が減少したりしている。水循環基本法にある地方公共団体の責務を果たすためにも、専門家に依頼して、地下水の現状調査に着手しては。

民生部長 井戸水等の枯渇は、用水路等の整備により、地下に浸透する水が減ったことが大きな要因と考えられますが、これまででは専門家等による調査は行っていませんでした。水循環基本計画では、持続可能な地下水の保全と利用を図るため、地域の実情に応じて地下水マネジメントを流域連携の一環として推進することを位置づけているので、国や県と連携しながら、調査の必要性を研究したいと考えます。

議員 水循環基本計画

に示されている、健全な水循環に関する教育の推進等への取り組み状況は。**教育長** 昨年度、藤坂小学校では、白上湧水公園で絶滅危惧種に指定されている水生生物を捕獲し、校内で飼育しています。西小学校では、沼袋名水公園で水生生物等を捕獲し、その生態を調査しています。下切田小学校では、学区の川に稚魚を放流する取り組みを行っています。

いずれも学区内の水環境を教材とし、実体験を伴った深い学びにつながっています。今後水環境の保全も含めた環境教育の充実について、学校訪問等を通じて各校へ指導してまいります。**議員** 私たちが当たり前のよう利用している水は、何の保全策も講じなければ、将来にわたり約束されたものではない。水道水源保護条例制定に向けた調査研究の状況は。**上下水道部長** 当市と同様に地下水を水源とし、浅井戸で取水している自治体や、同様の条件である秋田県潟上市を調査した結果、水源保護区域の指定範囲、規制対象事業の選定、罰則の適用等が多くの自治体で課題とされていることから、現在その内容について検討しています。



水は絶えず循環する生命の源

特別養護老人ホームの状況は 平成32年度までに 1施設ふやす予定



舩 甚 英文 (日本共産党)

議員 特別養護老人ホームは、入所希望者が多く、待機している方もいると聞く。特別養護老人ホームの数、定員数、入所待機者数はどれくらいか。**健康福祉部長** 当市には4施設あり、定員は259名です。自宅で介護されている入所待機者数は、平成29年12月時点で53名です。第7期施設整備計画では、平成30年度

から平成32年度までに市民のみが入所できる定員29名の地域密着型特別養護老人ホームを1施設増設する予定です。**議員** 要支援者名簿は住民票をもとに作成されているため、事実上ひとり暮らしの高齢者を市は把握できていない。町内会や民生委員の協力を得ながら、事実上の高齢者のひとり住まいの家庭を調べた上で名簿を作成する考えは。**健康福祉部長** 要支援者名簿への登録対象者は、70歳以上のひとり暮らしの方、70歳以上の高齢者のみで構成される世帯の方などのほか、市長が必要と認めるものとなっています。名簿に登録されていない方でも、町内会長や民生委員から見て登録が望ましい方であれば、対象に加えます。

議員 散歩やウォーキングは、介護予防や健康維持のために自分ででき



健康のために積極的に歩きましょう

る一番簡単な方法だ。広い歩道があるところに、歩いた距離の目安を示す表示板や休憩用のベンチを整備する考えは。**健康福祉部長** 健康維持のために重要なことは、みずからが行動し、実践することであると考えています。市は、誰でも気軽に取り組める運動を重点的に推進しており、平成28年度にはウォーキングコースの整備にも取り組んでいます。今後も、市民が健康都市宣言の取り組みを継続して実施できるよう、関係機関と連携し、ウォーキングコースの設置や休憩場所について調査研究したいと考えています。